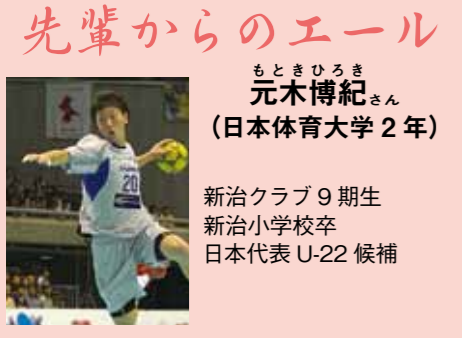


- 平成 7 年 7 月 10 日創部
 平成 12 年
 ▶ 東日本小学生大会準優勝
 平成 13 年
 ▶ 県総合選手権兼入江杯大会優勝
 平成 16 年
 ▶ HC東京ジュニアカップ優勝
 平成 18 年
 ▶ 関東少年少女大会優勝
 ▶ 東日本小学生大会優勝
 ▶ 富里市小学生大会優勝
 ▶ 県総合選手権兼入江杯大会優勝
 ▶ 読売杯関東ちびっ子大会優勝
 ▶ 彩の国カップ小学生大会優勝
 ▶ HC東京ジュニアカップ優勝
 平成 19 年
 ▶ 富里市小学生大会優勝
 ▶ 彩の国カップ小学生大会優勝
 ▶ 行方杯小学生大会優勝
 ▶ HC東京ジュニアカップ3位
 平成 20 年
 ▶ 東日本小学生大会準優勝
 ▶ 富里市小学生大会優勝
 平成 21 年
 ▶ 読売杯関東ちびっ子大会(低学年の部)優勝
 平成 23 年
 ▶ 県少年少女新人大会優勝
 ▶ 県少年少女大会兼全国・関東予選優勝
 ▶ 関東少年少女大会出場
 ▶ 全国小学生大会出場



全国大会初出場おめでとうございます。
 私も小学2年生から新治クラブに入部してハンドボールを始め、多くの試合に出たい！勝ちたい！と夢中で走り回っていました。一緒に汗だくなって練習していたメンバーやクラブOBの中には、指導者や選手として頑張っている方が大勢います。皆さんも新治クラブで夢のきっかけをつかんでほしい。
 どんな大会でも楽に勝てる試合などありません。厳しい展開になろうとこれまで指導を続けてくれた白土監督やコーチ、仲間を信じて、最後まであきらめず、全国大会の醍醐味を味わってください。また、ハンドボール競技を知らない方も、新治クラブのメンバーの努力と挑戦に多くのエールを送ってあげてください。よろしくお願ひします。



1 ゴールキーパー
岩井雅岳(新治小6年)
 Iwai Masataka
 キーパーとしては小柄だけど自分より大きい選手のシュートも絶対に止める！



2 左45°
齊藤詩織(新治小6年)
 Saito Shiiri
 正確なジャンプとステップシュートが得意。高校生で日本選抜になるのが夢。(チームのエース)



3 センター
丸山健吾(新治小6年)
 Maruyama Kengo
 キャプテンとしてみんなをまとめたい！負けたくないのは「技術」と「判断」



4 右45°
櫻井睦哉(新治小6年)
 Sakurai Tomoya
 1対1になったら必ず抜く！1試合7得点以上できるようにがんばります！



5 ポスト
藤井駿輔(安飾小5年)
 Fujii Shunsuke
 自慢の明るさで全国ではスペースを探し、シュートをいっぱい決めるぞ！



6
石原万優子(美並小6年)
 Ishihara Mayuko
 シュートをきちんとコーナーへ入れるように頑張ります！コツコツと。



7 左サイド
塚田倅正(吉生小5年)
 Tsukada Kosei
 シュート力をつける練習で、左サイドからゴールを狙います！



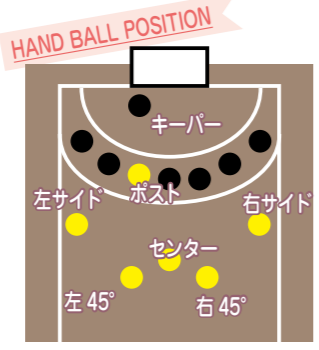
8
小倉昂汰(新治小5年)
 Ogura Kota
 キャプテンみたいに力強いシュートを打てるように頑張ります！



9
浅野間大翔(下福吉東小5年)
 Asanoma Hiroto
 ステップシュートが得意だけどディフェンスも頑張ります！



11 右サイド
岩井穂貴(新治小4年)
 Iwai Hotaka
 スピードある速攻でゴールを狙います！(ずばりチームのムードメーカー)



13
大橋栞奈(下福吉東小5年)
 Ohashi Kanna
 攻撃にスピードをつけて「速いシュート」を決めたいです。



14
栗原優翔(安飾小5年)
 Kurihara Yuto
 6月に入部したばかりですが、ベンチからアツイ声援を送ります。



監督
白土克弘 先生
 Shirato Katsuhiko
 新治小の教諭としてクラブを立ち上げて以来、16年にわたりクラブを指導。現在は石岡市吉生小学校に赴任しているが、週2回クラブの指導に新治小学校に通っている。

チームの特徴は「総合力」。目立つ選手が活躍するよりも、組織で1点を取りに行く。そしてスピード。細かいことは教えていませんが、とにかく走らせる。今後いい選手になってほしいと思えばとても大切なことです。
全国大会にはもちろんプレッシャーはあります。目標は予選リーグを突破すること、つまりベスト8目指して総合力で頑張ってきます。
親への感謝を忘れるな。これは監督である前に教育者としての言葉。「親への感謝は親からは教えられる。私たちが教えるべきだと思いません」名將にはやはり理念がある。

第23回茨城県少年少女ハンドボール大会兼全国予選会を制し、さあ全国大会へ

夢をつかんだ新治の闘士

「スピード」と「明るさ」が新治クラブの原動力。
 関東・全国大会での活躍を期待せずにはられない！

明 るい笑顔で練習場にやってくる児童。監督の姿はなくてもキャプテンの一声で自主的に練習が始まる。監督や保護者コーチがやってきて本格的な練習が始まる。厳しい練習に耐えているのかと思いきや、和気あいあいみんな明るい。クラブOBの中学生や高校生が低学年の面倒を見ているかと思えば、その横で赤ちゃんまでボールを持って遊んでいる。この「全員家族」のような風景は強豪スポーツチームのイメージとかけ離れていたが、児童たちは真剣に練習に取り組み、練習の合間も無駄な動きはほとんどなく大変機敏。自立性の高さが見える。

和 選手が語るチームの強さのヒミツ

- なんといっても気持ち強い！
- 今も活躍する先輩たちを、目標にしている
- ディフェンスと速攻がスゴイ！
- 弟、妹がほとんどなので、兄弟に負けたくない意地が強い



新 治クラブのチーム旗には「和」の文字が記されている。まさにクラブを象徴する一文字。というのもハンドボールは7人で行うスポーツだが、クラブは、ベンチ入りも含め3人の女子が在籍している。しかし、全国の舞台では男女混合の出場枠はない。男子からは「女子が出場できないなら、辞退してもいい」と声が挙がるほどだった。
宿 敵守谷クラブを制しての全国の切符は意義がある。男子の部で守谷クラブ以外が茨城代表になるのは今回が初めて。チームは、女子選手を役員登録してベンチ入りさせ、全国大会を戦うことを決めた。関東大会は7月23日から群馬県で、全国大会は7月29日から京都府で行われる。